

事業所・お店の パワーシフト・エピソード

電気を切り替えたたくさんの事例のなかから、
いくつかご紹介します

➡ **新電力会社**



株式会社ラッシュジャパン（化粧品会社）

本社兼工場（神奈川県 厚木市） ➡ **湘南電力**
池袋駅前店、静岡店、心斎橋2店 ➡ **ネクストエネルギー・アンド・リソース**

ラッシュは人、動物、自然環境がハッピーで持続可能に共存できる社会を目指して企業活動を行っています。サステナビリティはカンパニー最優先課題であり、環境への配慮は誰もが持つべき責任だと考えています。価格だけでなく、私たち一人ひとりが「電気の原材料」に目を向け、再生可能エネルギーを選んでいくことが、持続可能な未来につながると信じています。



2016年4月には全国130店舗で、従業員とともにお客様にもパワーシフトを呼びかけました。

ギンザのサエグサ（子ども服ブランド、不動産業）

本社、メインストア（東京都中央区） ➡ **みんな電力**

電力はすべての経営活動の「原料」であるがゆえに、企業には「電力調達の責任」があります。さらに「子どもたちの未来への責任」があります。この二つを考えたとき、サエグサには「電力を変えない理由」がありませんでした。



目指せグリーン電力100%



ワークショップを通じて、環境問題やエネルギーを考える「気づき」のきっかけを提供している

薬樹株式会社（保険調剤薬局業）

本社（神奈川県 大和市）
首都圏の店舗 89店舗を含む106事業所 ➡ **みんな電力**

私たちは、「健康」を個人はもちろんのこと、地域社会、自然環境という広がりのなかでとらえ、これらすべてが満たされていることが真に健康な状態であると考え、「健康な人」「健康な社会」「健康な地球」=『健康さんじゅうまる』という理念を掲げています。パワーシフトを行うことは、エネルギー問題の根本に積極的に関わることであり、私たちの理念の実現に向けて、大きな一歩です。



薬樹薬局の店頭では「ペットボトルキャップ」「使用済天ぷら油」「衣類」の資源回収を行うエコステーションを展開している。

鈴廣蒲鉾（食品会社）

4か所の工場と3つの店舗（神奈川県 小田原市） ➡ **湘南電力**

2015年に創業150周年を迎えた かまぼこ店。電力の地産地消を目指している湘南電力に切り替えました。

ぽかぽかハウス（研修施設）

研修施設（福島県 猪苗代町） ➡ **須賀川瓦斯**

福島市や郡山市の子どもたちが週末保養する施設です。原発事故被害者に寄り添うプログラム実施場所として、パワーシフトしました。



詳しくはウェブで



ゼロノミクマ

見樹院（寺院）

境内施設（東京都文京区） ➡ **みんな電力**

小規模な寺院ですが、檀信徒はじめ市民とのフラットな関係で運営され、様々なNGO/NPOや市民グループとつながり、講演会、ワークショップ、上映会、演奏会なども積極的に開催しています。



カフェスロー

カフェ、ギャラリーおよびオフィス（東京都 国分寺市） ➡ **みんな電力**

カフェスローは、「食」を真ん中に人と人、人と自然、今の世代と未来の世代の「つながり」を考えたライフスタイルを提案しています。脱原発をめざし、設立当初より省エネ、節電、非電化などに取り組んできましたが、電力自由化を受け、スロームーブメントの一環としてパワーシフトに賛同、切り替えることにしました。近隣のNPOやNGOと協力しながら、地域の人々にも「パワーシフト」と「パワーダウン」を呼びかけます。



カフェ

相羽建設株式会社（地域工務店）

本社ほか関連施設（東京都東村山市ほか） ➡ **エネックス株式会社**

多摩産材や自然素材を使い、職人の手仕事で木造住宅や木造施設をつくらしている地域工務店です。太陽熱や自然エネルギーを活用した家づくりや、地域の人との顔の見える関係を大切にしています。同じく東村山のエネックスさんの電気に切り替え、会社関連施設の屋根の太陽光発電も同社に売電しています。

企業

アバンティ株式会社（オーガニックコットン）

プリスティン自由が丘店（東京都目黒区） ➡ **グリーンピープルズパワー**

オーガニック製品を通して社会貢献をすることを目指して1985年に設立された会社です。私たちにとって、パワーシフト（再エネ電力の選択）は当たり前なことだと思いました。



PRISTINE 自由が丘店

無染色のオーガニックコットンで、糸から製品まで、メイドインジャパンにこだわってつくっています。

楠学園（フリースクール）

校舎（鹿児島県 始良市） ➡ **太陽ガス**

自然体験を重視し、子どもたちの持つ力を存分に伸ばすことを重視しています。大手であれ個人であれ、自らに恥じない行動を取りたいと考え、できることをしました。



学校

自由の森学園（私立中学・高等学校）

校舎、寮（埼玉県 飯能市） ➡ **みんな電力**

自由の森学園は、生徒の個性を大事にする教育を行っており、美術や音楽などの芸術の授業に力を入れています。今もって深刻な状況にある原発事故問題の背景には、「湯水のように」電力を消費してきた私たちの問題もあります。誰かの犠牲の上にあるエネルギーではなく、誰もが幸せになれるエネルギーを選ぶ。これは教育の問題です。



学校

宝泉寺（寺院）

本堂・庫裡（愛知県津島市） ➡ **ネクストエネルギー・アンド・リソース**

脱原発活動を、アユス仏教国際協力ネットワークのメンバーとともに進めています。脱原発のためには、自分自身のエネルギーを代えていくことも大切です。できれば自然エネルギーでの電気に切り替えたいと以前から考えていました。近在の寺院・カフェ・幼稚園などにも紹介し、クチコミが一番効果があるように感じています。



寺

いとしまシェアハウス（シェアハウス）

シェアハウス（福岡県 糸島市） ➡ **みやまスマートエネルギー**

3.11を受けて関東より移住、2013年に「食べ物」「エネルギー」「お金」を自分たちでつくる、をテーマに始めた自給自足型の古民家シェアハウスです。電力自由化後、すぐに電力会社を切り換えました。



シェアハウス

コミュニティカフェ「メサ・グランデ」

カフェ店舗（神奈川県 川崎市） ➡ **グリーンピープルズパワー**

展開している事業の中で地産地消を推奨して川崎野菜を販売しています。川崎の農家さんを支援するように電気も地産地消にしたいと、切り替えました。



カフェ

鳥取県土地改良事業団

鳥取県土地改良会館（鳥取県鳥取市） ➡ **とっとり市民電力**

鳥取県内の農村地域で、農業基盤（水路、農地、農村）を整備する仕事をしています。自然豊かな鳥取県で生み出された電力の地産地消を推進することは、本会のような地元の企業にとっては重要な責務と考え、趣旨に賛同して切り替えました。



詳細はこちらで紹介しています！

「パワーシフト体験談」 power-shift.org/people/



幼稚園や保育園、教会、ライブハウス…
なども可能性あり！

めざせ
100件!!

Action!

自然エネルギー社会に向けて
企業・事業所ができること

1. 電力会社を切り替えましょう

パワーシフト・キャンペーンのウェブサイト参考に、
応援したい・共感する電力会社を選んで連絡、見積もり
を依頼。過去1年間の電気料金請求書を準備しましょう。

power-shift.org/choice/

切り替えたら、ぜひ事務局までご一報ください。

ウェブサイトの「パワーシフト体験談」で紹介します！

power-shift.org/people/

切り替えよう！

パワ-
シフト

呼びかけよう！

100%
自然エネルギー

2. 自然エネルギー100% プラットフォームに参加

自然エネルギー100%に取り組む団体（自治体、企業、
NGO、教育機関等）の宣言や、この活動を支持する
賛同団体を募集しています。ぜひご参加下さい！

go100re.jp/

パワーシフトな事業所登録フォーム

● 会社名、事業所名等

● ご担当者名

eメール

電話

- ☐ウェブサイトには事業所名のみ公開します。
☐下記の詳細も含め公開します。
☐詳細も含め公開したいが、取材をお願いしたいです。

● 切り替えた電力会社

（時期： 年 月から）（ 高圧 / 低圧 ）

● 切り替えた事業所詳細（店舗名、工場名など）

● 貴所の事業内容や取り組み内容

● パワーシフトに踏み切った理由、その電力会社を選んだ理由

● エネルギーシフトへ向けたその他の取り組み等

● パワーシフト・キャンペーンに一言！（何か応援メッセージをいただければ幸いです）

ご協力ありがとうございます。下記の事務局までお送りください。折り返しご連絡いたします。

パワーシフト・キャンペーン事務局 〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9 (FoE Japan)
Email: info@foejapan.org / TEL: 03-6909-5983 / FAX: 03-6909-5986

めざせ100件!!

全国の企業・事業所のパワーシフト



カフェ



研修施設



社 屋

パワーシフトとは、
自然エネルギーが中心の持続可能なエネルギー社会にむけて、
パワー（電力・しくみ）のあり方を、変えていくこと

パワーシフト・キャンペーンは、自然エネルギー（再エネ）を重視する電力会社を
紹介・応援し、切り替えを促す活動を行なっています。

再エネ重視の電力会社に切り替えた事業所は、企業や学校、カフェ、お寺、教会など、
すでに全国で多数あります。キャンペーンのウェブサイトではこうした事業所が
どういう考えでなぜ切り替えたのか、エピソードを紹介しています。

家庭はもちろん、企業や事業所の切り替えには、大きな意味があります。

◆ 社会へのアピールになる

◆ お客さんや社内従業員、取引先、関係者などにも
取り組みを知ってもらうことができる

◆ 電力使用量が大きく、実質的にもインパクトがある

自然エネルギーを選ぶ消費者が増えることで、電力会社としても自然エネルギーを
つくろう、調達しようという動きにつながり、原発や火力発電からのシフトを後押し
することになります。持続可能な地域の自然エネルギーへシフトする動きを、いっしょ
につくっていきましょう。

power-shift.org